

あおもり県議会だより

平成30年 6月 第294回 定例会

6月定例会の概要



議会棟がリニューアルしました

青森県税条例等の一部を改正する 条例案などを可決

平成30年6月第294回定例会は、6月14日に開会され、6月29日までの16日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、「青森県県税条例等の一部を改正する条例案」をはじめ、11件の議案及び3件の報告が上程され、三村知事

から提案理由説明があり、また、提案理由説明に続き、原子力発電及び核燃料サイクルに関する世耕経済産業大臣への要請について、報告がありました。

6月20日から3日間にわたり行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、新たな米政策に対応した生産調整に係る県の取組などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。

6月26日には、議案に関する質疑が行われ、青森県医療法施行条例の一部を改正する条例案の改正内容等について、質疑・答弁がありました。

知事提出議案のうち、人事案件を除く議案10件及び報告3件は各常任委員会に付託され、常任委員会は6月27日に開かれ、それぞれ審議されました。

最終日の6月29日は、各常任委員会の審査内容の報告、討論が行われたのち採決が行われ、知事提出議案11件、報告3件及び**議員提出議案1件**が可決・同意・承認されました。

用語解説

議員提出議案とは

議案には、知事が提出するもの、議員が提出するもの、委員会が提出するものがあります。青森県議会では、議員が議案を提出しようとするときは、その案をそなえ、理由をつけ、4人以上の議員が連署して、議長に提出します。

(青森県議会会議規則第15条)

まめちしき

県議会本会議と特別委員会の模様はインターネットでライブ配信しています。過去の議会映像もご覧いただけます。

詳しくは「青森県議会インターネット中継」で検索してください。



目次

- 6月定例会の概要…… P01
- 一般質問の内容 …… P02
- 常任委員会委員の紹介… P08
- 常任委員会の活動紹介… P10
- 可決された議案 他 … P12



くし びき ゆき こ
櫛引 ユキ子 議員
会 派：自由民主党
選挙区：五所川原市

問 米の生産調整

新たな米政策に対応した生産調整に県はどのように取り組んでいくのか。

答 農林水産部長

需要に応じた生産調整を推進するため、需要見込に基づく生産数量目標を青森県農業再生協議会から地域協議会に情報提供する。また、県産米全体の食味・品質のレベルアップにより需要の維持・拡大を図るほか、産地交付金を活用した飼料用米等の生産や、たまねぎ等への転換を促進するなど、環境変化に強い水田農業の構築に取り組んでいく。

問 性暴力被害者支援センター

開設から1年経過した？
あおもり性暴力被害者支援センターの実績と今年度の取組について伺う。

答 環境生活部長

本センターは、性犯罪・性暴力被害に関する相談対応や、関係機関への付添いなどの支援を、ワンストップで提供するための拠点として活動しており、平成29年度の相談件数は445件であった。今年度は、被害が特に潜在化しやすい若年層に対して広報啓発を行うほか、医療従事者等向け研修会を開催する。



用語解説
あおもり性暴力被害者支援センター

性犯罪・性暴力の被害にあわれた方を支援するため、被害を受けた本人やその家族などからの相談を受け、要望に応じた必要な支援をコーディネートする拠点として設置。



せき りょう
関 良 議員
会 派：青和会
選挙区：青森市

問 労働力人口の確保

次期基本計画に労働力不足への対応を位置付け、取組を強化していくべきと考えますが、知事の考えを伺う。

答 三村知事

若者の県内定着・還流のためのきめ細かな情報発信や、県内への就職・移住支援、女性や高齢者の就職・就労促進のほか、各産業では、農業分野の最先端農業機械の導入による省力化などの生産性向上に向けた取組を進めており、次の計画でも労働力不足への対応を特に重視する視点の一つとして位置付け、取組の充実・強化を図る。

問 短命県返上

短命県返上に向け、県民の健康意識の醸成が最も重要と考えるが、県として今後どのように取り組んで行くのか。

答 三村知事

本県の平均寿命は男女とも最下位だったものの着実に延伸しており、生活習慣においても改善傾向が見えてきている。県では、県民の更なる「健やか力」の向上に取り組むほか、従業員の健康管理に取り組む企業を支援する「青森県健康経営認定制度」を引き続き実施する。また、「高血糖ストップキャンペーン」に取り組む。



用語解説
青森県健康経営認定制度

本県の働き盛り世代の健康づくりを推進するため、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営®」に取り組む県内事業所を、「青森県健康経営事業所」として認定する（「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標）。



た なか みつる
田中 満 議員
 会 派：国民民主党
 選挙区：八戸市

問

がん医療提供体制の充実

がん治療から社会復帰支援までの総合的に対応する専門的組織として、県立がんセンター設置が有効と考えるが、県の見解を伺う。

答

健康福祉部長

本県では、がん診療連携拠点病院が他の医療機関と連携しながら、質の高いがん医療を提供しているほか、がん情報収集・提供や、がん相談支援事業などの総合的ながん医療の提供を行っている。県としては、これらの事業に対し補助を行うことにより、がん診療連携拠点病院の機能充実強化を図り、がんに対し治療から就労支援まで総合的に対応していく。

用語解説



**ネクストキャリアセンター
あおもり**

45歳以上の方を対象として、個々の職業適性や能力、経験、価値観などを踏まえた、職業選択や就職活動に関するアドバイスなどを行うキャリアカウンセリングや各種就職情報の提供や再就職支援セミナーの開催などを通じた、個々の特性に応じたきめ細かい就業支援を行う。

問

高齢者の就労促進

高齢化と人材不足が避けられない中で、高齢者の就労促進に向けた県の取組方針について伺う。

答

佐々木副知事

高齢者の方々が意欲と能力に応じて働くことができる生涯現役社会の実現に向けた取組が重要と考えており、**？ キャリアカウンセラー**による求職者一人ひとりの職業適性を踏まえた職業選択や就職活動に関するアドバイスをを行っているほか、今年度から新たに、高齢者の就労・活躍に向けたフौरラム等の開催や高齢者が担える仕事の開拓等に取り組むこととしている。



なる み けい いち ろう
鳴海 恵一郎 議員
 会 派：自由民主党
 選挙区：黒石市

問

スポーツ環境の充実

児童生徒が各種スポーツ大会に参加する際の学校における出席の取扱いについて伺う。

答

教育長

各種スポーツ大会への参加については、当該児童生徒の心身の発育・発達状況、学校教育への影響等を総合的に勘案し、教育上有意義であると認められる場合には、校長が教育活動の一環として参加させることができるものとし、授業への出欠については出席扱いとすることとしている。また、部活動において実施されている競技か否かにかかわらず、出席扱いとすることができる。

用語解説



県政・わたしの提案

開かれた県政の実現を図ることを目的に、県民が県政について日頃感じていることや考えていることなど、青森県をもっとよくするための前向きで具体的な提案を郵便や電子メール等により寄せていただく県の広聴事業。

問

県民からの政策提案

県政に係る意見や提案を聴くため、県は、どのような広聴事業を行っているか。

答

三村知事

？「県政・わたしの提案」や「パブリック・コメント制度」のほか、私自身が県民の皆様と意見交換を行う「未来デザイン県民会議」、県職員による「出前トーク」を実施し、県外でも「元気あおもり応援隊会議」を開催するなど、多様な意見を県政に反映するよう努めてきた。引き続き県民の声を丁寧な受け止め、認識を共有しながら、誰もが安心して輝いて生きられる「生活創造社会」を実現していきたい。



はたけ やま けい いち
富士 敬一 議員
会 派：公明・健政会
選挙区：八戸市

問

災害時応援協定

大規模火災発生時における消防水利の確保を図るため、コンクリートミキサー車等による給水支援について、生コンクリート事業団体等との協定締結の取組を推進すべきと考えるが、県の見解を伺う。

答

危機管理局长

消防庁からの通知等を踏まえ、県内全域で協定締結が進むよう、引き続き、各消防本部における取組を後押ししていきたい。また、県としても、関係事業団体等との協定締結について、検討を進めていきたいと考えている。

用語解説



**あomorいインターンシップ
総合窓口**

- 開設場所
株式会社マイナビ青森支社
- 利用時間
平日9時30分から17時まで
- 電話番号
017-732-2231
- 電子メール
job.aomori-intern@mynavi.jp

答

三村知事

インターンシップは学生の企業への理解を深め、県内への就職につながる有効な手段であることから、今年度は学生と企業との受入調整を行う**総合窓口**を新たに開設するほか、インターンシップを受け入れる企業とのマッチング会の開催や、県内企業の受入体制の強化を図り、受入企業数を60社以上、参加学生数を200人以上増やすことを目指す。

問

インターンシップ

県外に進学した学生の県内就職を促進するためにはインターンシップが重要と考えるが、県はどのように取り組んでいくのか。



よこ はま つとむ
横浜 力 議員
会 派：自由民主党
選挙区：むつ市

問

医師の地域偏在解消

弘前大学医学部医学科のいわゆる「地域枠」について、下北圏域など県内の医師不足地域に配慮した運用を求めるときと考えるが、県の考えを伺う。

答

健康福祉部長

全国の受験生に対する公平・公正の立場が求められる国立大学法人において、特定の高等学校を指定した推薦入試の実施は、困難であると伺っている。県としては、各関係機関と連携しながら、下北地域を含む県内の医師不足地域で勤務する若手医師が増えるよう、しっかり取り組んでいく。

答

農林水産部長

国の方針による留保枠の設定等により、漁業者への配分が減少し、影響は避けられないが、クロマグロ漁を持続的なものとするため、国際的なルールを遵守した資源管理に取り組む必要がある。県としては、国に漁業収入安定対策の加入要件の緩和等を要請したところであり、本県漁業者が納得して資源管理に取り組めるよう、県議会や関係団体と連携して国に対応を求めていく。

問

クロマグロの漁獲枠

沿岸漁業者の漁業経営に与える影響があると考えられるが、県はどのように対応していくのか。



県産クロマグロ



さいとう なおひと 議員
齊藤 直飛人
会派：自由民主党
選挙区：北津軽郡

問

次期基本計画における産業振興

次期青森県基本計画では経済のエンジンとしてどのような産業を伸ばしているのか。

答

三村知事

農林水産業、ライフ関連産業、観光産業といった成果が出ている分野を更に伸ばしていくほか、医療・介護用機器のキーデバイスなどの次世代のヘルスケア分野、データ利活用ビジネスなどの超スマート社会を支える情報分野、IoTを活用した農林水産業等のビジネスイノベーションの創出などが今後期待される新たな産業分野と考えている。

用語解説



教職員の多忙化解消に向けた取組工程表

教職員の多忙化解消のため、県教育委員会が平成28年4月から3ヶ年で取り組むべき方針を示した。県教育委員会が設置した多忙化解消検討委員会が平成27年12月に取りまとめた「教職員の多忙化解消に係る報告書」の内容に基づいている。

問

学校における働き方改革

学校における働き方改革の実施に向けて、県教育委員会ではどのように取り組んでいるのか。

答

教育長

平成28年4月から、**教職員の多忙化解消に向けた取組**工程表に基づき、職員の勤務状況の把握の徹底や、教職員の意識改革等に取り組んできたが、文部科学省の緊急対策を踏まえ、さらに取組を進めることとしている。具体的には、県立学校において、タイムカード等による客観的な勤務時間管理の試行や、平成30年度からは、学校閉庁日を設定できることとした。今後も、関係機関と連携しながら、学校における働き方改革に取り組んでいく。



えびさわ まさかつ 議員
蛭沢 正勝
会派：自由民主党
選挙区：上北郡

問

障害者の就労状況

障害者の県内民間企業への就労状況について伺う。

答

商工労働部長

平成29年6月現在の県内民間企業の障害者実雇用率は、2.06パーセントと前年同期を0.08ポイント上回り、5年連続で過去最高を更新している。また、法定雇用率を達成している企業数は503企業、雇用障害者数は3,073.5人と、前年同期より30企業、184.5人増加している。産業別では、生活関連サービス・娯楽業、医療・福祉など5業種で法定雇用率を上回っている。

問

営農大学の機能強化

営農大学の機能をどのように強化していくのか。

答

農林水産部長

「青森県営農大学校グラウンドデザイン」に即して、学生が魅力に感じ、農業振興に貢献する多様な人材を育成できるように、営農大学校の機能強化に取り組んでいる。具体的には、ICTやマーケティングなどの科目の拡充、先進農家実習を組み合わせた社会人向け研修の実施、平成32年度からの6次産業化コースの新設によるカリキュラムの充実など、農業情勢や社会環境の変化に合わせて機能を強化していく。



平成31年度
営農大学校
学生募集
ポスター



えち ぜん よう えつ
越前 陽悦 議員

会 派：自由民主党
選挙区：むつ市

問

結婚・出産・子育て

結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりのため、県は今後どのように取り組んでいくのか。

答

三村知事

結婚したい男女の出会いの場づくりなどに取り組むほか、リスクの高い妊産婦への支援体制の強化、乳幼児医療費給付における本年10月から実施する所得制限の基準緩和による対象者拡大、保育サービスの安定的な提供体制の構築、結婚から子育てを応援する県内企業等の認証・支援などにより、結婚、妊娠・出産、子育ての各段階に応じた切れ目のない支援を行います。

問

下北半島地域の道路網

国道279号二枚橋バイパス、一般県道薬研佐井線及び主要地方道川内佐井線の完成見通しについて伺う。

答

県土整備部長

「二枚橋バイパス」については、これまでに1.5キロメートルを供用しており、平成32年度の供用開始に向けて、橋面工事及び改良・舗装工事を進めていく。「薬研佐井線」については、平成32年度の完成に向けて、待避所設置や舗装工事など、1.5車線化を進めていく。「川内佐井線」については、平成33年度の完成に向けて、防雪施設等の整備を進めていく。



二枚橋バイパス工事の様子



まつ た まさる
松田 勝 議員

会 派：日本共産党
選挙区：八戸市

問

老朽漁船の更新

老朽化している本県漁船の更新について、県はどのように対応していくのか。

答

農林水産部長

本県に登録される漁船の半数以上は建造から30年以上経過し、老朽化が深刻な状況となっているが、県では、国の補助事業を活用した代船の導入促進のため、採択要件である「浜の活力再生プラン」の策定支援に加え、収益性向上やコスト削減計画、リース事業活用のための経営計画づくりを指導・助言するなど、計画的な漁船の更新を支援していく。

問

自殺対策

自殺対策にどのように取り組んでいくのか。

答

健康福祉部長

改正自殺対策基本法で策定が義務付けられた市町村の**？自殺対策計画**策定を支援するため、市町村を対象に圏域毎の研修会を実施するほか、若者が日頃慣れ親しんでいるSNSを活用した情報発信と相談事業を実施する。また、県教育委員会と連携し、「SOSの出し方教育」のモデル指導案を作成し、その普及を図る。さらに、民間団体を対象とした交流会・研修会を開催し、民間団体のネットワーク強化を図る。

用語解説

自殺対策計画

自殺対策基本法の改正により、自殺対策の地域間格差を解消し、誰もが「生きることの包括的な支援」としての自殺対策に関する必要な支援を受けられるよう、全ての都道府県及び市町村が策定することとされた。



山口 多喜二 議員
 やまぐち たきじ
 会 派：自由民主党
 選挙区：平川市

問

女性農業者の確保・育成

女性農業者を確保・育成するため、県はどのように取り組んでいくのか。

答

農林水産部長

本県農業における女性の活躍や就農を一層進めていく必要があり、女性起業者の育成や若手女性農業者の仲間づくりなどを進めている。これらに加え、農業で活躍する女性の姿などを紹介する情報誌を作成し、就農意欲を喚起するほか、託児所を設けた研修会の開催や資格取得に向けた情報提供を行うなど、女性が農業を職業として選択し、活躍できる環境づくりに取り組む。

問

温泉熱の利用促進

？温泉熱カスケード利用モデル構築事業について、今年度どのように取り組んでいくのか。

答

エネルギー総合対策局長

県内の温泉地を1箇所選定の上、有識者や地元関係者等による検討会を設置し、浴用・暖房・融雪・ハウス栽培など、地域のニーズを踏まえた温泉熱カスケード利用のモデルプランを作成するほか、県内の温泉事業者や市町村等を対象とし、温泉熱利用の取組事例等に関する報告会を開催し、温泉熱カスケード利用の普及促進を図っていくこととしている。



温泉熱カスケード利用モデル構築事業

地域の温泉資源を熱エネルギーとして有効に活用し、温泉熱水を高温から温度帯に応じて多段階に利用するモデルを構築する。



小椋山 吉紀 議員
 こひやま よしのり
 会 派：自由民主党
 選挙区：三沢市

問

障害者雇用促進

県内の民間企業における障害者雇用の状況と県内企業に対する障害者雇用促進に向けた県の取組について伺う。

答

商工労働部長

平成29年6月現在の県内民間企業の障害者実雇用率は、過去最高の2.06パーセント、全国22位となっている。障害者雇用をさらに促進するため、法定雇用率未達成の事業所に対する意識啓発、支援制度の周知、雇用実績がある事業所の見学会開催のほか、障害者を雇用する事業主への障害者向け作業手順書作成支援を行っている。

問

県南地域における稲作振興

県南地域の稲作振興に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答

三村知事

適地適作を見極めながら、主力品種の「まっしぐら」については、値頃感があっておいしいと引き合いが強いことから、食味と品質にブレのない安定した米づくりを徹底し、県南向けに開発した酒造好適米「吟烏帽子(ぎんえぼし)」については、高品質・安定生産に向けたきめ細かな指導を展開する。また、新たな良食味品種については、有望系統の現地適応性や食味・品質を確認しながら導入を検討する。



常任委員会とは

常任委員会は、付託案件の有無にかかわらず常設される委員会で、県議会には6つの委員会が設置されています。本会議から付託された議案や請願の審査のほか、広範多岐にわたる県の仕事について、担当部門ごとに専門的な調査を行います。委員の任期は1年で、すべての議員がいずれかの委員会に所属することとなっています。

総務企画 危機管理委員会

所管
事項

総務部、企画政策部、危機管理局、出納局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

委員長	副委員長	委員				
						
まきち けんたろう 菊池 憲太郎 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：2回	なる み けいいちろう 鳴海 恵一郎 会 派：自由民主党 選挙区：黒石市 当選回数：2回	い ぶき しんいち 伊吹 信一 会 派：公明・健政会 選挙区：青森市 当選回数：4回	まる い ゆたか 丸井 裕 会 派：自由民主党 選挙区：十和田市 当選回数：4回	く どう のりやす 工藤 慎康 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：3回	あんどう はる み 安藤 晴美 会 派：日本共産党 選挙区：弘前市 当選回数：3回	た なか みつる 田中 満 会 派：国民民主党 選挙区：八戸市 当選回数：1回

環境厚生委員会

所管
事項

環境生活部、健康福祉部及び病院局の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
ふしかわ とも のぶ 藤川 友信 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：2回	やまぐち た き し 山口 多喜二 会 派：自由民主党 選挙区：平川市 当選回数：1回	す わ ますいち 諏訪 益一 会 派：日本共産党 選挙区：青森市 当選回数：6回	た な ぶ さだ お 田名部 定男 会 派：国民民主党 選挙区：八戸市 当選回数：6回	みつはし かずみ 三橋 一三 会 派：自由民主党 選挙区：つがる市 当選回数：4回	なつほり こういち 夏堀 浩一 会 派：自由民主党 選挙区：三戸郡 当選回数：3回	ぬまお けいいち 沼尾 啓一 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：2回	きくち いさお 菊池 勲 会 派：青和会 選挙区：弘前市 当選回数：1回

農林水産委員会

所管
事項

農林水産部、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
さいとう ちかし 齊藤 爾 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：2回	えびさわ まさかつ 蛭沢 正勝 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：2回	なりた かつり 成田 一憲 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：8回	きた きいち 北 紀一 会 派：国民民主党 選挙区：三戸郡 当選回数：6回	くまがい ゆういち 熊谷 雄一 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：4回	たかはししゅういち 高橋 修一 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：3回	かわむら さとる 川村 悟 会 派：青和会 選挙区：弘前市 当選回数：3回	よしだ きぬえ 吉田 絹恵 会 派：公明・健政会 選挙区：上北郡 当選回数：2回

青森県議会常任委員会の委員（議員）を紹介します。

商工労働観光 エネルギー委員会

所管
事項

商工労働部、観光国際戦略局、エネルギー総合対策局及び労働委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員				
						
くどう よしはる 工藤 義春 会 派：自由民主党 選挙区：平川市 当選回数：2 回	はなだ えいすけ 花田 栄介 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：2 回	あべ ひろえつ 阿部 広悦 会 派：自由民主党 選挙区：南津軽郡 当選回数：6 回	えいぜん ようえつ 越前 陽悦 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：5 回	おかもと ゆきと 岡元 行人 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：4 回	こむら かずお 古村 一雄 会 派：無所属 選挙区：青森市 当選回数：3 回	せき りょう 関 良 会 派：青和会 選挙区：青森市 当選回数：2 回

文教公安委員会

所管
事項

教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
てらだ たつや 寺田 達也 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：2 回	たにかわ まさと 谷川 政人 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：1 回	かみやま ひさし 神山 久志 会 派：自由民主党 選挙区：東津軽郡 当選回数：8 回	たなかじゅんぞう 田中 順造 会 派：自由民主党 選挙区：十和田市 当選回数：7 回	くどう かねみつ 工藤 兼光 会 派：自由民主党 選挙区：西津軽郡 当選回数：4 回	やまだ さとる 山田 知 会 派：無所属 選挙区：八戸市 当選回数：4 回	やまや きよふみ 山谷 清文 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：3 回	はたけやま けいいち 畠山 敬一 会 派：公明・健政会 選挙区：八戸市 当選回数：3 回

建設委員会

所管
事項

県土整備部及び収用委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
よこはま つとむ 横浜 力 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：2 回	さいとう なおひと 齊藤 直飛人 会 派：自由民主党 選挙区：北津軽郡 当選回数：2 回	しみず えつろう 清水 悦郎 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：5 回	もりうち のほる 森内 之保留 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：5 回	こひやま よしのり 小椋山 吉紀 会 派：自由民主党 選挙区：三沢市 当選回数：3 回	くしびき ゆきこ 櫛引 ユキ子 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：3 回	いちのへ ふみお 一戸 富美雄 会 派：青和会 選挙区：青森市 当選回数：2 回	まつた まさる 松田 勝 会 派：日本共産党 選挙区：八戸市 当選回数：1 回

総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、5月23日から24日にかけて、東青・下北地区において調査を実施しました。

東通村では、観光客の誘客が期待されている、東通ヒラメ料理開発による地域活性化について説明を受け、質疑応答を行いました。むつ市では、健康寿命の延伸を目標として取り組んだ、健康マイレージ事業の概要について説明を受け、質疑応答を行いました。

平内町では、通年で観光客を受け入れる、ひらないまるごとグルメ館の概要について説明を受け、質疑応答を行いました。

青森県防災航空センターでは、県民生活を守るための防災

業務に広く携わっている、防災ヘリコプターの運用について説明を受け、質疑応答後、センターや防災ヘリコプターの視察を行いました。



青森県防災航空センターの視察

環境厚生委員会

環境厚生委員会は、5月24日から25日にかけて、上北・三八地区において調査を実施しました。

児童養護施設あけぼの学園では、施設の運営状況について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設内を視察しました。

(株)ウイズウェイストジャパン三戸事業所では、産業廃棄物の処理について説明を受けるとともに、産業廃棄物最終処分場を視察しました。

八戸学院大学では、子ども食堂の運営状況について説明を受けるとともに、質疑応答を行いました。

小川原湖交流センター「宝湖館」では、小川原湖の水質について説明を受けるとともに、小川原湖を視察しました。



小川原湖の視察

農林水産委員会

農林水産委員会は、5月22日から23日にかけて、東青・下北地区において調査を実施しました。

青森市の株式会社松山ハーブ農園では、農家レストランと黒にんじくの取組状況等について説明を受け、質疑応答後、加工施設内を視察しました。

横浜町の横浜漁港水産物供給基盤機能保全事業の現場では、漁港施設の長寿命化対策について説明を受け、質疑応答後、現地の状況を視察しました。

むつ市の北彩漁業生産組合では、海峽サーモンの養殖生産や加工販売の状況、新たな加工兼直売施設の整備状況について説明を受け、質疑応答後、加工兼直売施設内を視察しました。

風間浦村の鳥獣害防止施設では、二ホンザルによる食害防止対策のための捕獲檻の設置状況について説明を受け、質疑応答後、現地の状況を視察しました。



松山ハーブ農園の施設見学

商工労働観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会は、5月24日から25日にかけて、三八・上北地区の調査を実施しました。

ファーストプライウッド(株)では、LVL(単層積層材)工場の概要について説明を受け、意見交換をするともに、工場内を視察しました。

八戸酒造(株)では、県産酒の需要拡大の取組について説明を受け、意見交換をするともに、酒蔵内を視察しました。

八戸バイオマス発電(株)では、バイオマス発電と農工商連携について説明を受け、意見交換をするともに、施設内を視察しました。

青森県量子科学センターでは、センターの概要について説明を受け、意見交換をするともに、センター内を視察しました。



青森県量子科学センターの視察

文教公安委員会

文教公安委員会は、5月31日から6月1日にかけて、三八・上北地区において調査を実施しました。

十和田市立法奥小学校では、同校で取り組んだ「郷土を愛する心を育てる学校教育支援事業」の概要について説明を受け、質疑応答後、同事業で生徒が制作に参加した曲「かけがえない宝物」を鑑賞しました。

三沢警察署では、警察活動の状況等について説明を受け、質疑応答後、施設内を視察しました。

八戸第一養護学校では、障害者スポーツを活用した学習内容等について説明を受け、質疑応答後、校内を視察しました。

八戸市立西白山台小学校では、三八・上北地区の木材を多用した教室等について説明を受け、質疑応答後、校内を視察しました。



十和田市立法奥小学校における視察

建設委員会

建設委員会は、5月24日から25日にかけて、東青・下北地区における調査を実施しました。

東青地区では、東青地域県民局より概況説明を受けた後、青森港海域環境創造事業、県営住宅小柳団地3号棟建設工事及び新青森県総合運動公園整備事業(いずれも青森市)の現地調査を行い、それぞれ質疑応答がありました。

また、下北地区では、下北地域県民局において概況説明を受けた後、国道279号道路路災害防除(風間浦村)、国道279号二枚橋バイパス道路改築事業、大畑川総合流域防災事業及び国道279号むつ南バイパス道路改築事業(いずれもむつ市)の現地調査を行い、それぞれ質疑応答がありました。



青森港海域環境創造事業の現場の視察



議員定数等検討委員会が熊谷議長に報告しました。

平成28年3月23日に設置された議員定数等検討委員会において検討を重ねてきた、議員定数、選挙区及び選挙区別定数について、平成30年6月14日に議員定数等検討委員会成田委員長から熊谷議長に対して報告書の提出がありました。



熊谷議長に報告書を提出する成田委員長

第294回定例会で可決された知事提出議案(14件)

◆条例関係(8件)

- 青森県県税条例等の一部を改正する条例案
- 青森県核燃料物質等取扱税条例の一部を改正する条例案
- 青森県医療法施行条例の一部を改正する条例案
- 青森県旅館業法施行条例の一部を改正する条例案
- 青森県老人福祉施設等の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案
- 青森県児童福祉法施行条例の一部を改正する条例案
- 青森県障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部を改正する条例案
- 青森県国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例案

◆人事関係(1件) ○青森県採用委員会の委員及び予備委員の任命の件

◆その他の議案(5件) ○訴えの提起の件など5件

第294回定例会で可決された議員提出議案の内容

意見書 りんご黒星病撲滅のための国の取組を求める意見書

(意見書の内容)

りんご黒星病の早期撲滅を図るため、りんご黒星病に治癒効果のある薬剤の早期開発を促すこと、EBI剤等の薬剤を使用しない薬剤防除体系を早期に確立すること、りんご生産者の防除費用の増加に要する経費を支援対象とすること及び耕種的防除のための作業効率の高い被害落葉の収集機を早期に開発することを国に対して要望。



- 平成30年9月第295回定例会について
 第295回定例会は、平成30年9月21日(金)に開会し、10月11日(木)に閉会する予定です。
 詳細な日程については青森県議会ホームページでお知らせします。
- あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて
 〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課 電話 017(734)9797(直通)